

瀬田川プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター

琵琶湖水質担当

昭和61年9月16日

第25報

植物プランクトン

(綱) 種 名	細胞数 (群本数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(藍) <i>Anabaena affinis</i> *	2680	◎	◎
(珪) <i>Melosira granulata</i>	840		
(珪) <i>Melosira granulata</i> var. <i>angustissima</i>	200		
(褐) <i>Cryptomonas erosa</i>	20		
(緑) <i>Pediastrum biwae</i>	1280	○	○
(緑) <i>Staurastrum dorsidentiferum</i> var. <i>ornatum</i>	40		○
(藍) 藍藻綱	2680	53.0	60.2
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄) 黄色鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(珪) 珪藻綱	1040	20.6	13.4
(渦) 渦鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(褐) 褐色鞭毛藻綱	20	0.4	0.3
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	1320	26.1	26.1
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総細胞数	5060	総体積	9.80E+06
種類数	6	(μm^3)	

注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)

ただし*印の種は群本数(群本/ml)

注2) 優占種は◎が第1優占種 ○が第2優占種

数字は各綱ごとの占有率(単位%)

注3) 細胞体積は顕微鏡観察による画像から

試験的に推定した概算値である。

植物プランクトン優占種

第 1 優 占 種		細胞数 (細胞数/ml)
藍藻綱	<i>Anabaena affinis</i> *	2680

第 2 優 占 種		細胞数 (細胞数/ml)
緑藻綱	<i>Pediastrum biwae</i>	1280

植物プランクトン第1優占種

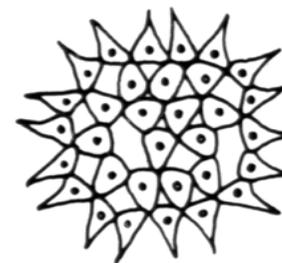


Anabaena affinis
(アナベナ)

藍藻綱

糸状体は単独または束状の群体をつくる。細胞は球形または短い樽形である。

植物プランクトン第2優占種



Pediastrum biwae
(ビワクンショウモ)

緑藻綱

16, 32, 64細胞からなる群体を形成する。各細胞は1本の角状突起を持ち、突起同士が対をなすのが特徴である。琵琶湖の固有種とされ、ビワクンショウモと呼ばれている。